



VOICES 町民の声

選択肢のある子育て環境を金山に



町の宝を守る会

いまい はるか
今井 晴香 さん

私は金山町に移住し、子育てを始めてから7年目になります。

初めて町を散策した日のことを、今でもはっきりと覚えています。「なんて素敵なお町並みなんだろう」「ここで子育てができるなんて嬉しい」とこれから始まる暮らしに大きな期待を抱いていました。

しかし、現実には決して簡単なものではありませんでした。知らない土地での子育ては、想像以上に心細く、社会から切り離されたような、言葉にできない孤独との闘いでもありました。

子どもが一歳になる頃、子育て支援センターの存在を知り、先生から声をかけていただいて、初めて足を運びました。そこで出会った先生方や先輩ママたちの温かさ、そして寄り添ってくれる優しさに触れ、「一人で頑張らなくてもいいんだ」と心がふっと軽くなったのを覚えています。

その後も先生方に支えられながら、二人目、三人目を

出産し、現在も子育てに奮闘しています。当時の先生方には、今も心から感謝しています。

金山町は、町並みだけでなく、人の温かさにあふれた場所です。それほど素晴らしい町であるにもかかわらず、なぜ子供が減っていくのでしょうか。私は、町並みや人の優しさだけでは、子育てを続けていくことが難しい時代になっているからだと感じています。

今、金山町から子どもが減っていく現状の中で、町民みんなで子どもたちを見守り、育てていく意識が、これまで以上に必要ではないでしょうか。

また、他市町村と比べたとき、子どもたちの体験の格差は大きな課題だと感じています。親として、この先の厳しい時代を生き抜くために、できるだけ多くの経験をさせ、選択肢を広げてあげたい。それは多くの親に共通する願いだと思います。

しかし現実には、金山町だけで子どもたちの選択肢を十分に広げることが、決して簡単ではありません。だからこそ金山町には、これまで大切にしてきた取り組みを継続しながらも、新しい風を取り入れていくことが必要だと感じています。誰かが動いてくれるのを待っている間にも、子どもたちは確実に成長していきます。

私自身も一人の母として、子どもに胸を張れる大人でありたい。そして、子どもたちが「金山が大好き」「また帰ってきたい」「自分の子どもにも見せたい」と思える町であり続けるよう、考え、行動し続けていきたいと思っています。

令和6年11月11日に、議会と「町の宝を守る会」の意見交換会を実施しました。

3月定例議会は3月6日(金)~13日(金)の予定です
町民の皆様のお傍聴をお待ちしています

- ◎発行責任者
議会 議長 栗田 保則
- ◎議会広報常任委員会
委員長 星川 智子
副委員長 中村 忠行
委員 大場 洋介
五十嵐 優一
宮林 聡志

発行◎山形県最上郡金山町議会
〒999-5402
山形県最上郡金山町大字
金山324番地1
TEL.0233-52-2111(内線300)
FAX.0233-52-2004

本号の写真

12/22に第7回目となる新庄南
高校金山校生徒による模擬議
会が行われた。議員6名による
一般質問は、生徒自らが考え、
町の課題を的確に捉えていた。

主権者教育の重要性が叫ば
れる中、金山校の取り組みは
総務省のYouTubeチャンネル
でも取り上げられている。

総務省
動画チャンネル▶
@soumuchannel



訂正とお詫び
議会だより144号(11/7発行)

前号(144号)P3最上段「約178万円」とあるのは「約1781万円」の誤りです。お詫びして訂正いたします。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた
見やすいデザインの文字を採用しています。